

令和7年度 第1回放課後対策事業運営委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和7年7月11日（金）午前10時～午前11時20分
射水市役所本庁舎3階 会議室303

2 出席者

【委員】

荒木委員、老田委員、西宮委員、甲田委員、甲委員、岩井委員、織田委員、
星野委員、佐藤委員

【事務局】

生涯学習・スポーツ課 北村係長、竹口主任、山本主任、兼岡学芸員、
吉田コーディネーター、中コーディネーター、
折橋コーディネーター

学校教育課 川淵課長補佐、稲田主査

3 会議概要

（1）開会

（2）委員長、副委員長の互選

（3）議事

【説明事項】

放課後児童クラブの概要

放課後子ども教室・土曜学習推進事業の概要

コミュニティ・スクールについて

（4）放課後対策事業に関する意見交換

（5）閉会

4 放課後対策事業に関する意見交換

【委員】

・市の放課後児童クラブ運営基準で支援員は必ず2名体制と決まっているので、午前2名、午後2名、計4名の職員が出勤しているが、小学生と保育園の子どもを預けて仕事に来ている人もいる。

・平日は子どもたちが14時半頃から18時まで利用している。18時半まで開級してほしいとお願いをしてくる保護者がいるが、開級時間の延長はこれからの課題として考えている。

・土曜日についてはただ預かっている状況であるので、他に皆で楽しめるのであれば教えてほしい。

・入級説明会は入学説明会の後にしており、決まり事や18時以降は預かることができないこと等を説明している。

【事務局】

- ・子どもたちが歩いて行けるところで、保護者が迎えに来てもらうところを鑑みて、同じ小学校区の属する学級に通ってもらっている。
- ・校区によっては、とやまっ子さんさん広場（以下「さんさん広場」という。）といって地域の人々で見守りを行っているエリアもある。元々放課後児童クラブがない校区でそういったサービスをやってもらっていたが、放課後児童クラブがあって、なおかつさんさん広場がある校区もある。さんさん広場は校区を限定しておらず、登録すれば誰でも利用でき、放課後児童クラブとさんさん広場の利用を重ねてはいけないというルールはない。土曜日も開設しているさんさん広場はある。
- ・保護者から開級時間の延長について求めがある場合は、受け入れてもらうというのが市としての方針である。保護者と学級との話し合いの結果、開級時間を早めた学級はある。
- ・支援員に自身の普段の生活を我慢して、他の方の支援をしてもらうのは市として大変心苦しいが、現状ではお願いするしかないというのが今の状況である。ただ、今回話をもらっているので、よい手立てがないか引き続き考えていく。

【委員】

- ・休む日は保護者から事前に連絡をもらっているが、登級予定の子どもがなかなか到着しない場合は、学校や保護者に連絡を取って確認をしている。
- ・1日開級の日は7時から19時まで開級している。14時から19時までの通常開級の日には支援員4名体制であるが、1日開級の日には4名では足りないので、午前4名、午後4名、計8名の職員を配置している。私は責任者であるので、7時から19時まで出勤しているが、休憩時間がない状態で子どもたちと過ごしており、支援員の確保が課題である。
- ・当学級はコミュニティセンターの中にあり、小学校と違いセキュリティが緩いことを心配している。
- ・集団生活の中であるので、決まり事が多数あり子どもたちに窮屈な思いをさせているが、子どもたちの思い出作りや笑顔で過ごす時間に貢献したいと思っている。

【事務局】

- ・担当課としては学校の空き教室があれば、放課後児童クラブの部屋として使いたいが、学校の都合があり、現状に至っている。児童数が減少しても、また違った教室を作らなければいけない等、新たな課題があって教室は空いてない。

【委員】

- ・保護者に勧められて入って、本当はやりたくなかったという子どもに対しては、どういうふうに教えていけばよいか困る時がある。
- ・先生が交代で顔を出してくるようになって、子どもたちの様子がお利口になっている気がする。先生に見られているという感覚があり過ぎてはよくないが、ある程度決まりを持ちながら教室をしていくことは良いことと思っている。先生の負担となっているのならば、考えていかなくていけないが、お互いの協力体制も必要だと思う。
- ・先生が教室があることをわかっていなかった時がある。冬は暖房が入っていなかったり、鍵がかかっていたりしたことがあった。学校と教室の協力体制がもっと必要であると考えている。

【委員】

- ・子どもは元気が一番ということで色々あるが、毎回明るく元気にやっている。始まりと終わりの挨拶はきちんと気持ちよくしている。
- ・当サークルは1年生から3年生までを対象としており、サークルが始まる時間は14時20分である。1、2年生の下校時間は14時で、3年生の下校時間は14時20分であるので、1、2年生はサークルがある教室に来て、宿題をしている。

【委員】

- ・1番子どもたちが多かった時期は約70名いた。ここ数年は12、3名くらいの登録人数であったが、今年は28名という多くの子どもたちが来てくれて、楽しくやっている。
- ・コミュニティスクールの学校支援ボランティアが放課後児童クラブの支援員を支援するような制度はないのか。

【事務局】

- ・放課後児童クラブの支援員の手が足りないところについては、学校支援コーディネーターに募集をかけたが、応募はなかった。

5 小学校からの意見・要望・感想

【委員】

- ・支援員や活動推進員と協力体制をとっていかなければいけないと改めて思った。学校は立て込んでしまうと、挨拶が遅れたり暖房を入れ忘れたりということがあがあるが、また気を付けていきたい。
- ・学校側としても皆様と一緒に子どもたちを見守っていききたいし、多くの子どもたちが放課後児童クラブや放課後子ども教室を利用しているということは保護者の方は非常に頼りにしていると感じた。まず、学校としてどういうふうに協力できるか考えながら、子どもたちの安全面や活動面を見守っていききたいと思う。

【委員】

- ・子どもたちは放課後児童クラブや放課後子ども教室に通うことを楽しみにしており、家庭を含めて子どもたちを支えてもらっていると改めて感じた。運営にあたっての問題点等を今回聞かせてもらったので、協力しながらよい方向に向かっていけばよいのかと思う。
- ・学校には大勢の支援員や推進員が学校に出入りしているので、挨拶や一声をかけてコミュニケーションを取らなくてはいけないと感じた。

6 行政側からの意見・要望・感想

【委員】

- ・今年度も子どもたちの放課後の居場所や活動の機会を提供していただき、感謝を申し上げる。事業説明をさせてもらい、支援員の確保や連携体制について意見をいただいた。支援員の確保については、コミュニティスクールでの周知や市としてできる限りの協力をさせていただきたいと思っている。連携体制については、もっと深めていくために意識を持って取り組んでいきたいと思っている。
- ・今月末に大島地区でさんさん広場が新たに開設予定である。市として放課後の居場所

作りや確保に引き続き取り組んでいきたいと思っているので、引き続きご協力とご理解をお願いしたい。

【委員】

- ・子どもたちの居場所を作り、日々現場で子どもたちの気持ちに寄り添いながらしっかりとサポートしていただいていることに関して、お礼を申し上げる。
- ・子どもたちは毎日楽しみを見出しながら笑顔で過ごしている。その裏で皆様にサポートしていただいているということを話を聞いて実感したところである。
- ・子どもたちは学校を終えてから自宅に帰るまでと土曜日、日曜日と多くの地域の方に触れ合い連携しながら、地域で育んでいける環境を市としても作っていきたいと思っているので、引き続きサポートをお願いしたい。

(午前10時00分開始、11時20分終了)